

秘

内閣情報部五・五（延着） 情報第一號

外國無線局發信電報放送（朝鮮總督府遞信局聴取）
一、上海ロイテル持報（四月二十八日）

上海報

聯合準備銀行券の激落を批評し米人所有の「上海イヴニング・ポスト・アンド・マーキユ
リー」紙は「北平・傀儡・通貨の市價は明かに底を抜きつゝある」と述べ、聯銀券の賣手
は買手を求めるために一層高いプレミアムさへ申し出てあると指摘し、「北支に於ける日
本側の通貨に關する實際が失敗したことは明かである、日本側は銳劍の先だけで通貨を維
持し得ないことを教へられた。聯銀券は圓とパーに釘付けられ、一志二片の名目的價値を
與へられてあるが、法幣は八片八分の三で、聯銀券に對して三割二分の打歩をつけてある
のであるから、聯銀券は實際六片以下即ち其の公定相場場の半分以下の價値しかない譯であ
る。聯銀券の敗亡は母國に崩壞の虞を齎してゐる」と。

二、成都支那中央通信社報（四月二十九日）
重慶報

日本は決して支那を征服することは出来ない」と英人ローテンスカレーチャー教授が重慶の

ロータリー俱樂部で述べた。以前山東省済南のCHEERLEKONミツシヨン大の教授だった彼は五つの理由を擧げてゐる、(一)世界の輿論が支那側についてゐること、(二)日本の經濟情勢は支那よりも悪化してゐること、(三)日本軍は更に内陸へ進み、前面は支那の正規軍、背面は遊撃隊で二つの戦線に面してゐること、(四)日本は對露戦の可能性に備へて餘力を残さねばならず、従つて支那との戦争に全力を使用し得ないこと、(五)西北支及び西南支に新しき統一國家が勃興しつつあるからである。日本は上海、南京或は漢口陥落の際に支那軍は降服するものと期待したが、ただの支那軍一隊としても壊滅したり、降服したりしなかつた、「支那の要門は支那の表門となりつつある、新しい精神が地方的根性より國家主義へ成長してゐる、新しい産業と新しい——を以て支那は最高司令蔣介石の下に日本の侵略に抵抗する決意を一層固めてゐる」と。

秘

内閣情報部五・五(延着)

情報第二號

外國無線局發信電報放送(四月廿日) (朝鮮總督府遞信局聽取)

一、重慶U・P通信

五月一日最初の「國民精神總動員人民月例會」を開くため重慶官邊及政界の盛んな準備が進められてゐる、開會日の祝祭では新生活運動五周年記念の「金獻納運動」中勵志社によつて募集せられた、獻納金の捧呈式がある筈で、合計二、四六五、一〇八元が政府へ引渡されることになつてゐる。林森主席が會合者に演説し、新生活運動寄附者にメダルを贈る、蔣介石もプログラムの主役を買ひ一日の午後八時全國にラヂオ放送を行ふが、其の後で親しく巨大な紙の塔の頂きにある松明に點火する、この紙の塔は大規模な松明行列の先頭に置かれて市街を行進するが、之には數萬の市民、新生活運動贊助者達が参加することになつてゐる。この祝祭は支那側の保持する領域に於て月例會を開き國民精神總動員誓約を新にし誓約を續行する方法を検討する計畫を弘めるためのものである、この誓約は原則的に否定すべきことを列擧したもので、支那國民は國民政府への服従を誓ひ、物質的、道徳的、精神的にも日本を助けることをしないと約束してゐるものである。

二、成都支那中央通信社報